(再評価)

資料 3-3-2

平成28年度第6回 関東地方整備局

一般国道17号 上尾道路

平成28年11月8日 国土交通省 関東地方整備局

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・そ の他の別
一般国道17号	上尾道路	∟=11.0km	二次改築	ВР

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
41, 300~57, 600	4	関東地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年		平成28年度	
単純合計	1, 114億円	131億円	1, 245億円
うち残事業分	65億円	43億円	108億円
基準年における 現在価値(C)	1, 489億円	48億円	1, 538億円
うち残事業分	58億円	16億円	73億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計	
基 準 年	平成28年度				
供用年	平成33年度				
単年便益 (初年便益)	151億円	11億円	4. 3億円	166億円	
基準年における 現在価値(B)	2,624億円	181億円	74億円	2,880億円	
うち残事業分	365億円	70億円	14億円	449億円	

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 9
経済的純現在価値(事業全体)	1,342 億円
経済的内部収益率(事業全体)	6. 2%
費用便益比(残事業)	6. 1
経済的純現在価値(残事業)	375億円
経済的内部収益率(残事業)	29. 4%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	41,300~57,600 (台/日)	±10%	1.5~2.1
事業費	1, 114億円	±10%	1.9~1.9
事業期間	31年	±20%	1.8~2.0

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	41,300~57,600 (台/日)	±10%	5. 7 ~ 6. 6
事業費	65億円	±10%	5. 7 ~ 6. 6
事業期間	4年	±20%	5. 9 ~ 6. 2

交通状況の変化

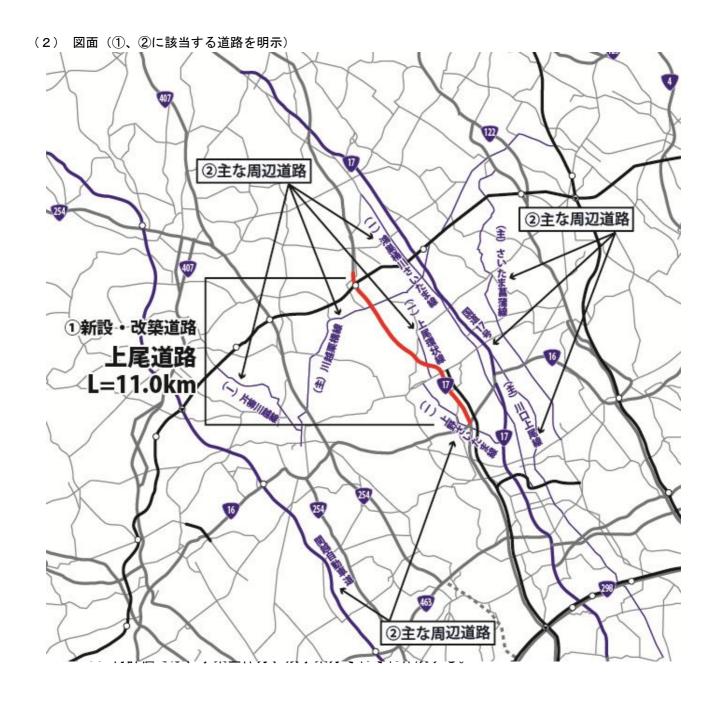
事業名:上尾道路(事業全体)

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
		交通量	[台/日]	-	45, 800
①新設·改築道路: 11.0km		走行時間	[分]	-	21
		走行時間費用	[億円/年]	_	181. 31
		交通量	[台/日]	50, 100	38, 800
	国道17号 : 11.3km	走行時間	[分]	21	20
		走行時間費用	[億円/年]	201. 57	142. 42
	(一)鴻巣桶	交通量	[台/日]	22, 100	20, 700
	川さいたま線	走行時間	[分]	14	13
	: 5. 9km	走行時間費用	[億円/年]	58. 87	50. 68
	/ > > - -	交通量	[台/日]	30, 200	27, 500
	(主)川口上 尾線 : 7.8km	走行時間	[分]	28	28
	. 7. oKIII	走行時間費用	[億円/年]	161. 46	147. 91
		交通量	[台/日]	90, 500	84, 100
	関越自動車 道 : 15.8km	走行時間	[分]	14	14
	: 10. ŏKM	走行時間費用	[億円/年]	236. 53	216. 42
		交通量	[台/日]	24, 800	23, 500
②主な周 辺道路	(主)さいた ま菖蒲線	走行時間	[分]	14	14
	: 4.9km	走行時間費用	[億円/年]	83. 98	81. 60
		交通量	[台/日]	15, 400	14, 400
	(一)片柳川 越線 : 3.0km	走行時間	[分]	6	6
	: S. UKIII	走行時間費用	[億円/年]	15. 93	14. 63
	() (== :	交通量	[台/日]	12, 900	10, 800
	(一)上野さ いたま線 : 4.2km	走行時間	[分]	13	9
	: 4. ZKIII	走行時間費用	[億円/年]	33. 51	18. 62
	()) (; ! ! -	交通量	[台/日]	24, 100	19, 600
	(主)川越栗 橋線 : 7.1km	走行時間	[分]	17	16
	. /. IKIII	走行時間費用	[億円/年]	78. 63	55. 99
	() ! ===	交通量	[台/日]	17, 400	15, 200
	(一)上尾環 状線 · 2 2km	走行時間	[分]	5	4
	: 2. 2km	走行時間費用	[億円/年]	15. 43	11. 28
	直路合計: 0.5km	走行時間費用	[億円/年]	22, 572. 66	22, 383. 29

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 2,713.6m	走行時間短縮便益	[億円/年]	23, 458. 56	23, 304. 15	154. 40

[※] 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。



交通状況の変化

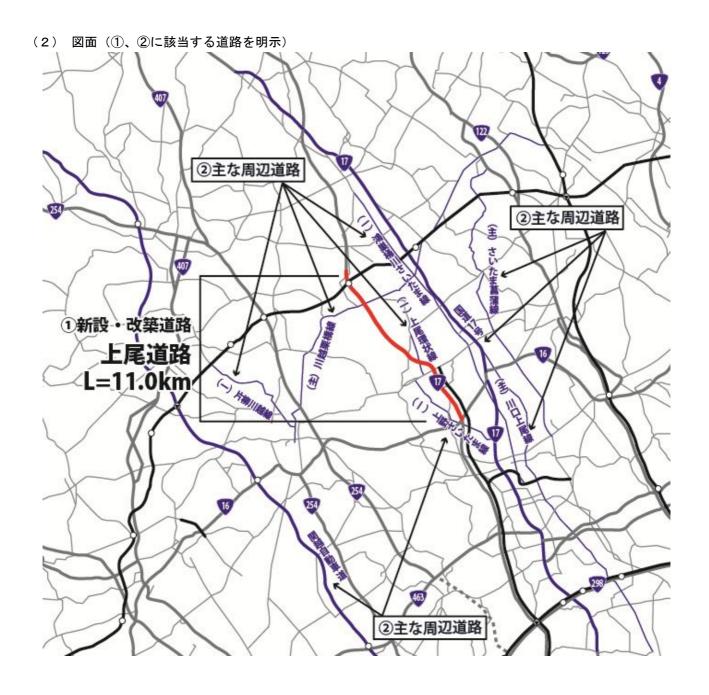
<u>事業名:上尾道路(残事業)</u>

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
		交通量	[台/日]	40, 100	45, 800
①新設·改築道路: 11.0km		走行時間	[分]	21	21
		走行時間費用	[億円/年]	187. 26	181. 31
		交通量	[台/日]	38, 900	38, 800
	国道17号 : 11.3km	走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	144. 52	142. 42
	(一)鴻巣桶	交通量	[台/日]	20, 900	20, 700
	川さいたま 線	走行時間	[分]	13	13
	: 5.9km	走行時間費用	[億円/年]	52. 01	50. 68
	(交通量	[台/日]	27, 600	27, 500
	(主)川口上 尾線 : 7.8km	走行時間	[分]	28	28
	. 7. 01111	走行時間費用	[億円/年]	149. 00	147. 91
	88+# 스 주나 =	交通量	[台/日]	84, 200	84, 100
	関越自動車 道 : 15.8km	走行時間	[分]	14	14
	. 10. 01.	走行時間費用	[億円/年]	216. 74	216. 42
	(交通量	[台/日]	23, 800	23, 500
②主な周 辺道路	(主)さいた ま菖蒲線 : 4.9km	走行時間	[分]	14	14
	. 4. JKIII	走行時間費用	[億円/年]	82. 13	81. 60
	() () (50.00	交通量	[台/日]	15, 000	14, 400
	(一)片柳川 越線 : 3.0km	走行時間	[分]	6	6
	. O. OKIII	走行時間費用	[億円/年]	16. 02	14. 63
	() I MZ -	交通量	[台/日]	11, 700	10, 800
	(一)上野さ いたま線 : 4.2km	走行時間	[分]	11	9
	. 4. ZKIII	走行時間費用	[億円/年]	22. 12	18. 62
	()) I = -	交通量	[台/日]	20, 700	19, 600
	(主)川越栗 橋線 : 7.1km	走行時間	[分]	16	16
	. 7. [Kiii	走行時間費用	[億円/年]	60. 79	55. 99
	/) · ===	交通量	[台/日]	17, 400	15, 200
	(一)上尾環 状線	走行時間	[分]	5	4
	: 2. 2km	走行時間費用	[億円/年]	14. 11	11. 28
	道路合計: 0.5km	走行時間費用	[億円/年]	22, 380. 95	22, 383. 29

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計: 2, 713.6m 走行時間短縮便益 [[億円/年]	23, 325. 65	23, 304. 15	21. 50

[※] 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。



費用便益分析の条件

事業名: 上尾道路

(2)

		項目	チェック欄
		費用便益分析マニュアル	
	算出マニュアル	(平成20年11月 国土交通省 道路局 都市·地域整備局)	-
		その他	
		分析対象期間	50年間
5	分析の基本的事項	社会的割引率	4%
		基準年次	平成28年
	交通流の	1時点のみ推計	■ (H42)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計	口有 口無
	推引 切	いずれかのみ いずれかのみの推計とした理由を記載 の推計の場合	
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	■ (H17センサス)
	推計に用いた	(三段階推定法)	(ロリ/センリス)
	OD表	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	
		(四段階推定法)	
١.		その他()	
交		無	
通	開発交通量の	有	
流	考慮	考慮した開発交通量(トリップ数) 有の場合のみ 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
推		有の場合のみ 考慮した理由を記載	
計			
		QーV式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		QーV式と転換率式の併用による配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
	配分交通量の 配分交通量の	簡易手法	
	能力交通量の 推計手法	小規模事業である	
	JEHI J Z	採択理由 山間部海岸部で併行追路が少ない	Ц
		その他() ()	
		同勿于仏の名えり(村木文地重の政定力仏寺)	
		その他()	П
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	1
		して設定	
		IC C	L 量(Qmin~Qmax)の路
		線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算と の生ずる「加重平均速度」を用いた。	出においては、速度差
	速度設定の	のエッる「加里十均还及」を用いた。	
	考え方		
		採用理由を記載	<u> </u>
		その他()	

(3)

			項目	チェック欄
		考慮しない		
		考慮する		
	仕口立るの		面的に考慮	
	休日交通の 影響		対象路線のみ考慮	
	 彩音	考慮する 場合のみ	採用した休日係数	() %
		- 場口 0,707	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考えて	ちを記載
		考慮しない	•	
		考慮する		
	<i>"</i> = '' = 1.7		採用した通行止め日数	()日
	災害等による 通行止めの		採用した通行止め日数の考え方を記載	
	影響	考慮する		
	₩ E	場合のみ	とり止め交通を考慮する	
			とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合	はその考え方を記載
		考慮しない		
	冬期交通の 影響	考慮する		
			採用した冬期日数	()日
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数の考え方を記載	
便				
益			冬期の走行速度と交通容量の関係	
の			設定の考え方を記載	
算定				T
_	交通流推計の		種別走行台キロの伸び率による設定	
	時点以外の 便益の算定	その他		
		(# m/E * / /) 	_
	±14 min+88		ボマニュアルの値を使用 - たたた男	
	車種別時間 価値原単位	独自に設定し	た値を使用	
		悪田原光ハ		_
	 車種別走行		折マニュアルの値を使用 ・ は た	
	単性別足1] 経費原単位	独自に設定し	プに 恒を 使用	
	社 莫冰十四			
	 交通事故減少	市市八座世	の方無な老虎	•
	文通事成减少 便益算定		の有無を考慮 の有無を考慮しない	
	│ 走行時間短縮·走 │ 行経費減少·交通	考慮しない 考慮する		
	事故減少以外の便			
	益			
	その他			

事業名: 上尾道路

(4)

			項目	チェック欄
		詳細事業計画	回による値を採用	
	事業費	標準投資パタ		
		その他()	
	維持管理費	維持管理費の設	:定根拠を記載	
	种村占任良 ————————————————————————————————————	当該区間を管	『轄する事務所における直轄国道の維持管理費実績!	こ基づき算出
	雪寒費	積雪地域また	は寒冷地域である	
費		考慮しない		
用		考慮する		
の	とまご ************************************		事業費を考慮	
算定	当該道路整備が 行われない場合		維持管理費を考慮	
Æ	の費用	考慮する	当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方で	記載(対策内容、費用等)
		場合のみ		
	その他			
4.	その他			
				

費用の現在価値算定表

箇所名:上尾道路 (事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額

延長(km)

単純価値(億円)

単価(億円)

			0.257	11.0	2.83		
		割戻率	GDP	事業費	(億円)	維持管理	費(億円)
年次	年度		デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-31年目	H 2	2.7725	106.5	0.78	1.89	. ,	
-30年目	H 3	2.6658	109.1	1.02	2.32		
	H 4	2.5633	110.6	0.43	0.92		
	H 5	2.4647	110.0	0.43	1.39		
<u> </u>	H 6	2.3699	110.8	1.55	3.10		
<u> </u>	H 7	2.2788	109.9	2.34	4.53		
-25年目	H 8	2.1911	109.5	2.39	4.46		
-24年目	H 9	2.1068	110.4	4.78	8.52		
-23年目	H 10	2.0258	109.9	41.50	71.37		
-22年目	H 11	1.9479	108.4	36.54	61.26		
-21年目	H 12	1.8730	107.2	62.22	101.43		
一20年目	H 13	1.8009	105.7	87.82	139.60		
-19年目	H 14	1.7317	103.8	58.75	91.44		
-18年目	H 15	1.6651	102.3	74.28	112.80		
-17年目	H 16	1.6010	101.0	64.98	96.11		
-16年目	H 17	1.5395	99.6	67.65	97.56		
<u> </u>	H 18	1.4802	98.7	81.32	113.78		
-14年目	H 19	1.4233	97.6	73.59	100.13		
-13年目	H 20	1.3686	96.8	71.83	94.76		
	H 21	1.3159	95.6	83.14	106.77		
—————————————————————————————————————	H 22	1.2653	93.7	40.28	50.75		
		1.2167	93.7		34.50		
<u>-10年日</u> -9年目				27.99			
——9年日 —8年目	H 24 H 25	1.1699 1.1249	91.3	35.69	42.67		
			91.1	50.10	57.71		
<u> </u>	H 26	1.0816	93.3	43.06	46.57		
<u> </u>	H 27	1.0400	93.3	23.83	24.78		
<u>-5年目</u>	H 28	1.0000	93.3	10.21	10.21		
一4年目	H 29	0.9615	93.3	7.48	7.19		
一3年目	H 30	0.9246	93.3	8.18	7.56		
一2年目	H 31	0.8890	93.3	20.51	18.23		
一1年目	H 32	0.8548	93.3	29.06	24.84		
供用開始年次	H 33	0.8219	93.3			2.62	2.15
1年目	H 34	0.7903	93.3			2.62	2.07
2年目	H 35	0.7599	93.3			2.62	1.99
3年目	H 36	0.7307	93.3			2.62	1.91
4年目	H 37	0.7026	93.3			2.62	1.84
5年目	H 38	0.6756	93.3			2.62	1.77
6年目	H 39	0.6496	93.3			2.62	
7年目	H 40	0.6246	93.3			2.62	
8年目	H 41	0.6006	93.3			2.62	
9年目	H 42	0.5775	93.3			2.62	1.51
10年目	H 43	0.5553	93.3			2.62	
11年目	H 44	0.5339	93.3			2.62	
12年目	п 44 Н 45	0.5339	93.3			2.62	
13年目	H 46	0.4936	93.3			2.62	1.33
14年目	H 47	0.4936	93.3			2.62	1.29
15年目	H 48	0.4564	93.3			2.62	1.20
16年目	H 49	0.4388	93.3			2.62	1.15
17年目	H 50	0.4220	93.3			2.62	1.11
18年目	H 51	0.4057	93.3			2.62	
19年目	H 52	0.3901	93.3			2.62	1.02
20年目	H 53	0.3751	93.3			2.62	0.98
21年目	H 54	0.3607	93.3			2.62	0.95
22年目	H 55	0.3468	93.3			2.62	0.91
23年目	H 56	0.3335	93.3			2.62	0.87
24年目	H 57	0.3207	93.3			2.62	0.84
25年目	H 58	0.3083	93.3			2.62	0.81
26年目	H 59	0.2965	93.3			2.62	0.78
27年目	H 60	0.2851	93.3			2.62	0.75
28年目	H 61	0.2741	93.3			2.62	0.72
29年目	H 62	0.2636	93.3			2.62	0.69
30年目	H 63	0.2534	93.3			2.62	
31年目	H 64	0.2437	93.3			2.62	
	, · · · · ·	U.L7U/	50.0			2.02	0.04

単純事業費計					1.113.97	•	131.02	
合 計					701.00	1,489.49	131.02	48.12
• • •		32	5.1200	30.0	.12.00	.0.07	2.02	0.02
49年目	H	82	0.1203	93.3	-412.96	-49.67	2.62	0.32
48年目	H	81	0.1251	93.3			2.62	0.33
47年目	H	80	0.1301	93.3			2.62	0.34
46年目	H	79	0.1353	93.3			2.62	0.35
45年目	H	78	0.1407	93.3			2.62	0.37
44年目	H	77	0.1463	93.3			2.62	0.38
43年目	H	76	0.1522	93.3	+		2.62	0.40
42年目	H	75	0.1583	93.3		+	2.62	0.41
41年目	H	74	0.1712	93.3			2.62	0.43
40年目	H	73	0.1712	93.3			2.62	0.47
39年目	H	72	0.1780	93.3			2.62	0.43
38年目	H	71	0.1852	93.3			2.62	0.49
37年目	H	70	0.2003	93.3			2.62	0.52
36年目	H H	69	0.2003	93.3		-	2.62	0.53
35年目		68	0.2100	93.3		-	2.62	0.57
33年目 34年目	H	66 67	0.2253 0.2166	93.3 93.3			2.62 2.62	0.59 0.57
32年目	H	65	0.2343	93.3			2.62	0.61

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名:上尾道路 (残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 延長(km)

単価(億円)

単純価値(億円)

						0.174	5.3	0.92
			割戻率	GDP	事業費	(億円)	維持管理	費(億円)
年次	年	度		デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
一5年目	Н	28	1.0000	93.3				
-4年目	Н	29	0.9615	93.3	7.48	7.19		
-3年目	Н	30	0.9246	93.3	8.18	7.56		
<u> </u>	Н	31	0.8890	93.3	20.51	18.23		
<u> 1</u> 年目	Н	32	0.8548	93.3	29.06	24.84		
供用開始年次	H	33	0.8219	93.3	20.00	24.04	0.85	0.70
1年目	H	34	0.7903	93.3			0.85	0.67
2年目	H	35	0.7599	93.3			0.85	0.65
3年目	H	36	0.7307	93.3			0.85	0.62
4年目	Н	37	0.7026	93.3			0.85	0.60
5年目	Н	38	0.6756	93.3			0.85	0.58
6年目	H	39	0.6496	93.3			0.85	0.55
7年目	H	40	0.6246	93.3			0.85	0.53
8年目	H	41	0.6006	93.3			0.85	0.51
9年目	Н	42	0.5775	93.3			0.85	0.49
	Н	43						
10年目			0.5553	93.3			0.85	0.47
11年目	Н	44	0.5339	93.3			0.85	0.45
12年目	Н	45	0.5134	93.3			0.85	0.44
13年目	Н	46	0.4936	93.3			0.85	0.42
14年目	Н	47	0.4746	93.3			0.85	0.40
15年目	Н	48	0.4564	93.3			0.85	0.39
16年目	Н	49	0.4388	93.3			0.85	0.37
17年目	Н	50	0.4220	93.3			0.85	0.36
18年目	Н	51	0.4057	93.3			0.85	0.35
19年目	Н	52	0.3901	93.3			0.85	0.33
20年目	Н	53	0.3751	93.3			0.85	0.32
21年目	Н	54	0.3607	93.3			0.85	0.31
22年目	Н	55	0.3468	93.3			0.85	0.30
23年目	Н	56	0.3335	93.3			0.85	0.28
24年目	Н	57	0.3207	93.3			0.85	0.27
25年目	Н	58	0.3083	93.3			0.85	0.26
26年目	Н	59	0.2965	93.3			0.85	0.25
27年目	Н	60	0.2851	93.3			0.85	0.24
28年目	Н	61	0.2741	93.3			0.85	0.23
29年目	Н	62	0.2636	93.3			0.85	0.22
30年目	Н	63	0.2534	93.3			0.85	0.22
31年目	Н	64	0.2437	93.3			0.85	0.21
32年目	Н	65	0.2343	93.3			0.85	0.20
33年目	Н	66	0.2253	93.3			0.85	0.19
34年目	Н	67	0.2166	93.3			0.85	0.18
35年目	Н	68	0.2083	93.3			0.85	0.18
36年目	Н	69	0.2003	93.3			0.85	0.17
37年目	Н	70	0.1926	93.3			0.85	0.16
38年目	Н	71	0.1852	93.3			0.85	0.16
39年目	Н	72	0.1780	93.3			0.85	0.15
40年目	Н	73	0.1712	93.3			0.85	0.15
41年目	Н	74	0.1646	93.3			0.85	0.14
42年目	Η	75	0.1583	93.3			0.85	0.13
43年目	Н	76	0.1522	93.3			0.85	0.13
44年目	Н	77	0.1463	93.3			0.85	0.12
45年目	Н	78	0.1407	93.3			0.85	0.12
46年目	Н	79	0.1353	93.3			0.85	0.12
47年目	Н	80	0.1301	93.3			0.85	0.11
48年目	Н	81	0.1251	93.3			0.85	0.11
49年目	Н	82	0.1203	93.3	-0.76	-0.09	0.85	0.10
合 計					64.47	57.74	42.59	15.64
単純事業費計					65.23		42.59	
于心学木具引					00.23		42.09	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

(事業全体)

新所名:上尾道路

85.12 計 (億円) 現在価値 割引率4% 167.90 168.72 169.12 169.53 168.29 165.80 164.56 163.31 162.07 160.82 159.58 158.34 157.09 155.85 154.61 153.36 152.12 150.87 149.63 148.39 145.90 144.65 143.41 142.17 139.68 139.68 135.95 135.95 133.46 132.22 130.97 129.73 128.49 127.24 126.00 124.75 167.04 便益合計 **√**□ 2.61 2.51 2.40 2.29 2.18 2.08 1.99 1.90 1.73 1.65 1.50 1.43 1.36 1.02 0.98 0.93 0.89 0.85 0.85 0.73 0.70 0.66 0.63 0.57 0.55 0.55 0.47 現在価値③×(4) 事故減少便益(億円 $\begin{array}{c} 44429\\ 4429\\ 8430$ 5.39 4.90 4.67 4.45 4.24 4.04 3.85 3.85 3.85 3.85 3.33 3.33 .59 1.43 1.36 1.23 1.17 8.41 8.10 7.80 7.52 7.24 6.97 6.71 6.46 6.22 5.93 5.66 3.02 2.88 2.74 2.61 2.48 2.36 2.25 1.51 現在価値 (A)×② 10.65 10.66 10.66 10.70 10.73 10.75 10.69 10.69 10.60 10.60 10.60 10.60 10.60 10.60 10.60 10.60 96.6 9.42 9.33 7.60 丰 6 走行経費減少便益(億円) 普通貨物 0.97 0.98 0.98 0.99 1.01 1.01 1.02 1.04 1.05 1.06 1.06 1.07 1.07 1.08 1.08 1.08 1.09 1.09 1.09 1.09 1.11 1.65 1.65 1.64 1.64 1.63 1.63 1.61 1.60 1.59 1.58 1.57 1.56 1.55 1.54 1.53 1.52 1.50 1.49 1.48 1.45 1.45 1.44 1.43 1.40 1.25 小型貨物 1.34 1.33 5.04 4.96 4.88 4.79 8.00 8.01 8.02 8.03 8.05 8.09 8.12 8.12 8.04 7.79 7.71 7.62 7.54 7.46 7.37 7.29 7.21 7.12 7.04 6.96 6.79 6.62 6.54 6.46 6.37 6.29 6.21 6.13 6.04 5.96 5.88 5.79 7.96 7.87 6.87 5.63 5.46 5.38 5.29 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 1110 | 現在価値 (1)×(A) 153.64 154.02 154.40 153.28 137.59 135.35 134.23 133.11 131.98 130.86 129.74 128.62 126.38 125.26 124.14 123.02 152.88 152.16 151.04 149.92 148.80 147.68 146.56 145.43 143.19 142.07 140.95 139.83 120.78 119.66 118.53 117.41 116.29 走行時間短縮便益(億円) 28.28 28.28 28.86 29.16 29.45 29.45 30.04 30.34 30.63 30.70 30.92 32.01 32.15 32.15 32.23 32.30 32.37 32.52 32.52 32.55 32.56 32.81 30.85 31.94 32.73 普通貨物 33.17 19.61 19.52 19.53 19.24 19.06 19.06 18.96 18.87 18.66 18.54 18.31 18.07 17.95 17.95 17.72 17.60 17.48 17.36 17.36 16.89 16.66 16.54 16.30 16.30 16.07 15.95 15.83 15.83 15.83 15.83 15.36 15.24 15.12 15.01 14.89 14.77 14.53 17.01 103.55 103.55 103.53 104.45 104.45 104.45 102.84 101.77 101.07 100.69 98.54 98 73.81 72.73 71.65 70.58 69.50 68.43 67.35 66.28 65.20 64.13 63.05 61.98 87.79 86.71 85.64 84.56 83.48 82.41 81.33 80.26 79.18 77.03 77.03 GDP ∓^71√7 93.3 93.3 93.3 93.3 993.3 993.3 993.3 993.3 993.3 0.6246 0.6006 0.5775 0.5553 0.4936 0.1646 0.1583 0.1522 0.1463 0.8219 0.7903 0.7599 0.7307 0.6756 0.4564 割戻率 0.4220 0.2851 0.1353 0.1301 0.1251 0.1203 0.533 0.5134 0.3901 3 0.99193 99180 99166 99152 99115 0.99145 00218 00217 00217 99159 00217 0. 9909C 総走行台キロの年次別伸び率 (関東臨海ブロック) 小型貨物 普通貨物 00174 00174 00174 00173 00173 0.98744 0.98760001 年度 ^{基準年} H28 4年次 | 14年日 | 14年日 | 24年日 | 24年日 | 34年日 | 64年日 | 64年日 | 74年日 | 84年日 | 84年日 | 94年日 | 94年日 | 94年日 | 12年目 | 13年目 | 13年目 | 13年目 | 13年目 | 15年目 | 16年目 | 16年目 | 18年目 | 18年目 | 22年日 | 23年日 | 23年日 | 25年目 | 25年日 | 25年日 | 25年日 | 25年日 | 25年日 | 30年目 | 30年目 | 30年目 | 31年目 | 31年日 | 32年目 33年目 34年目 35年目 36年目 38年目 39年目 40年目 41年目 42年目 43年目 44年目 46年目 47年目 48年目 49年目 45年目

58.46 55.77

64.2

89.1

48.39 44.00

46.1;

39.99 38.13 36.34 34.65

18.43

屢益の現在価値算定表

(残事業)

新所名:上尾道路

11.52 10.99 10.49 計 (億円) 現在価値 割引率4% 13.26 12.65 12.07 10.00 25.90 25.95 26.01 26.07 26.13 26.18 26.30 26.35 26.41 26.22 26.22 25.83 25.24 25.24 25.24 26.05 24.07 24.07 23.87 23.89 23.29 22.20 22.20 22.20 22.21 22.21 23.23 21.34 21.14 20.95 20.75 20.56 20.36 20.17 19.97 19.78 19.58 19.39 便益合計 **√**□ 0.16 0.15 0.12 0.09 0.08 現在価値③×(4) 0.17 事故減少便益(億円 $\begin{array}{c} 0.000 \\$ 2.06 1.96 1.87 1.79 1.63 1.48 1.48 1.28 1.22 1.16 Ξ 0.44 3.20 3.20 2.97 2.86 0.42 現在価値 (A)×② 3.69 3.69 3.60 3.57 3.57 3.50 3.47 3.47 3.38 3.35 3.31 3.00 2.97 # 6 走行経費減少便益(億円) 0.58 0.05 0.064 0.050 0. 小型貨物 2.01 1.98 1.95 1.89 1.86 1.77 1.75 1.72 1.69 18.66 2.81 2.82 2.83 2.83 2.84 2.84 2.85 2.85 2.85 2.85 2.86 2.86 1.83 2.10 2.07 2.04 $\begin{array}{c} 17.32 \\ 16.609 \\ 17.22 \\ 18.609 \\ 19.609$ 2.34 2.23 2.12 2.02 1.92 現在価値 ①×(A) 2102 2087 2071 2039 2039 2039 2039 19,08 1 17.72 17.56 17.40 17.24 17.09 16.93 16.77 16.61 16.46 16.30 16.14 15.98 走行時間短縮便益(億円) 普通貨物 3.65 3.68 3.72 3.76 3.80 3.88 3.91 3.95 3.99 4.00 4.01 4.02 4.03 4.04 4.05 4.06 4.08 4.08 4.08 4.09 4.10 4.11 4.13 4.14 4.15 4.16 4.17 4.18 4.20 4.21 4.22 4.23 4.24 4.25 4.25 4.26 4.27 4.28 4.29 4.30 4.31 4.32 4.33 3.27 3.26 3.24 3.23 3.21 3.20 2.45 2.43 14,15 14,22 14,22 14,23 14,33 14,33 14,33 14,33 14,33 14,33 14,33 13,63 13,63 13,63 13,63 13,13 10.99 10.84 10.69 10.40 10.25 10.25 9.22 9.95 9.81 9.66 9.51 9.37 GDP ∓^71−4 993.3 993.3 993.3 993.3 993.3 0.6246 0.6006 0.5775 0.5553 0.4936 0.1646 0.1583 0.1522 0.1463 0.8219 0.7903 0.7599 0.7307 0.6756 0.4564 割戻率 0.4220 0.2851 0.1852 0.1353 0.1301 0.1251 0.1203 0.533 0.5134 0.3901 3 00216 99193 99180 99166 99152 99115 0.99145 06066 00218 00217 00217 99159 0021 総走行台キロの年次別伸び率 01009 小型貨物 00174 00174 00174 00173 00173 0.98744 0.98760001 年度 ^{基準年} H28
 用期始型

 1年目

 2年目

 2年目

 3年目

 6年目

 7年目

 8年目

 9年目

 10年目

 11年目
 | 12年目 | 13年目 | 13年目 | 13年目 | 13年目 | 15年目 | 16年目 | 16年目 | 18年目 | 18年目 | 22年日 | 23年日 | 23年日 | 25年目 | 25年日 | 25年日 | 25年日 | 25年日 | 25年日 | 30年目 | 30年目 | 30年目 | 31年目 | 31年日 | 32年目 33年目 34年目 35年目 36年目 38年目 40年目 41年目 41年目 42年目 44年目 46年目 47年目 48年目 49年目 45年目 年次

路線名	箇所名	車線数	延長	
一般国道17号	上尾道路	4	11.0km	

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費					42,238	
	改良費				24,268	
		土工	m3	1,282,111	3,392	
		軟弱地盤改良工	m3	91,530	1,310	
		法面工	m2			
		擁壁工	式	1	862	
		管渠工	m	26,834	1,275	
		函渠工	m	279	720	
		排水工	m	12,770	158	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	16,551	
	橋梁費				8,111	
		100m以上	m	656	8,111	
		100m未満	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,945	
		IC	箇所	1	2,945	
		JCT	箇所			
	舗装費				4,630	
		車道舗装	m2	273,845	4,385	
		歩道舗装	m2	63,419	245	
	付帯施設	費			2,284	
		交通管理施設工	式	1	2,284	
		遮音壁	m			
②用地及補	償費				56,031	
	用地費		m2	628,627	41,296	
		宅地	m2	237,030	21,597	
		田畑	m2	278,494	14,147	
		山林·原野	m2	63,675	2,366	
		その他	m2	49,428	3,188	
	補償費		式	1	14,735	
③間接経費	,		式	1	16,741	
全体事業費					115,300	

【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長	
一般国道17号	上尾道路	4	5.3km	

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額(百万円)	備考
①工事費	•				6,170	
	改良費				1,544	
		土工	m3	3,930	10	
		軟弱地盤改良工	m3	5,074	73	
		法面工	m2			
		擁壁工	式	1	33	
		管渠工	m		0	
		函渠工	m		0	
		排水工	m	1,361	17	
		中央分離帯工	m			
		雑工	式	1	1,411	
	橋梁費				3,930	
		100m以上	m	420	3,930	
		100m未満	m			
	トンネル費	t				
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				343	
		車道舗装	m2	29,230	312	
		歩道舗装	m2	1,925	31	
	付帯施設	費			353	
		交通管理施設工	式	1	353	
		遮音壁	m			
②用地及補	償費				98	
	用地費		m2	3,530	76	
		宅地	m2	0	0	
		田畑	m2	0	0	
		山林·原野	m2	3,500	75	
		その他	m2	30	1	
	補償費		式	1	22	
③間接経費	}		式	1	771	
全体事業費					7,039	

【単価等について】

- 〇工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 〇用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道17 号	上尾道路	4	11.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	11.0	1,900	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	12,250	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			14,150	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道17号	上尾道路	4	5.3km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.3	900	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,700	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,600	

【単価等について】

〇維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

河砂第380号平成28年10月25日

国土交通省 関東地方整備局長 様



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る 意見照会について(回答)

平成28年10月17日付け国関整企画第129号の意見照会について、別紙のと おり回答します。





【河川事業】

[四川事末]		Y
事業名	「対応方針(原案)」 案※	埼玉県知事の意見
利根川水系直轄砂防事業(利根川)		利根川水系直轄砂防事業は、堰堤等を整備し利根川上流部の土砂流出を抑制、調節することにより、下流の洪水・土砂氾濫等を防止する事業であり、下流に位置する本県にとって非常に重要な事業であることから、事業の継続が必要であると考えております。なお、事業の実施に当たっては、引き続き、コスト縮減に努め、効率的効果的な整備をお願いします。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」 案※	埼玉県知事の意見
一般国道17号 上尾道路	継続	上尾道路は、圏央道へのアクセス向上や 国道17号現道の慢性的な渋滞緩和を図る 上で非常に重要な道路です。 平成28年4月29日に上尾市から桶川市間が一部暫定区間を含むものの全線開通 し、さいたま市方面から圏央道桶川北本IC へのアクセス性が向上しました。 引き続き、全線4車線化に向けて、江川地 区の貴重な湿地環境の保全対策を実施しつ つ、コスト縮減に十分留意し、早期完成に努 めていただくようお願いします。

[※]貴職の意見を踏まえ、関東地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

建土道計第 1157 号 平成 28 年 10 月 24 日

国土交通省

関東地方整備局長 様

さいたま市長 清 水 勇



関東地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案) の作成に係る意見照会について(回答)

貴職におかれましては、日頃から本市道路行政の推進につきまして、格別のご協力を 頂き厚くお礼申し上げます。

さて、平成 28 年 10 月 17 日付け国関整企画第 129 号で、御照会のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。





【道路事業】

【道路事業】	9	
事業名	「対応方針(原案)」 案※	さいたま市長の意見
一般国道17号 上尾道路	継続	国道17号上尾道路につきましては、慢性化している国道17号現道周辺の交通混雑の緩和や沿道環境の改善に寄与し、また地域間の道路網を担い、都市の骨格をなす幹線道路として認識しているところです。現在、さいたま市では、広域的な地域との連携強化のネットワークの構築を目指すべく道路整備を鋭意進めております。 国道17号上尾道路の全線開通により、さいたま市から圏央道へのアクセスが向上され、より一層の経済発展に大きく貢献されるものと期待しております。 国道17号上尾道路については、さらなる渋滞の緩和付て引続き整備継続頂けますようお願い申し上げます。